

問 1 正解  完璧  直前チェック

プロジェクトのスケジュールを管理するとき使用する“クリティカルチェーン法”の実施例はどれか。

- ア クリティカルパス上の作業に生産性を向上させるための開発ツールを導入する。
- イ クリティカルパス上の作業に要員を追加投入する。
- ウ クリティカルパス上の先行作業が終了する前に後続作業に着手し、並行して実施する。
- エ クリティカルパスを守るために、合流バッファとプロジェクトバッファを設ける。

問 2 正解  完璧  直前チェック

PMBOKガイド第5版によれば、組織のプロセス資産に分類されるものはどれか。

- ア 課題と欠陥のマネジメントの手順
- イ ステークホルダのリスク許容度
- ウ 組織のインフラストラクチャ
- エ 組織の文化、体制、ガバナンス

問 3 正解  完璧  直前チェック

PMBOKガイド第5版によれば、プロジェクトへの変更要求のうち、是正処置はどれか。

- ア あるサブシステムの成果物の品質が、要求されるレベルを満たさないことが予想されるので、設計ドキュメントのレビューに有識者を参加させる。
- イ あるタスクが、プロジェクトマネジメント計画書に記載したスケジュールから遅れたので、遅れを解消させるために要員を追加する。
- ウ 受入れテストにおいて、あるサブシステムのプログラムが要求仕様を満たしていないことが判明したので、プログラムを修正する。
- エ 法規制が改定されたので、新しい法規制に対応するための活動をWBSに追加する。

問 1 エ

**解説** クリティカルチェーン法は、資源(リソース)に限りがあることを考慮してプロジェクトスケジュールを管理する手法である。作業の依存関係と資源の依存関係の両方を見るのが特徴である。

クリティカルパス法との違いは、クリティカルパス法は遅延となり得るスケジュールパスを重点的に管理することであるが、クリティカルチェーン法はクリティカルパスに加えて資源(リソース)を勘案してスケジュールを管理することである。

ア、イ、ウ：クリティカルパス上の作業短縮であるため、クリティカルパスの管理となる。

問 2 ア

**解説** PMBOKでは、「プロジェクト・ライフサイクルと組織」の項目に「組織のプロセス資産」が含まれている。そのなかで、「プロジェクトに関わりをもつ組織のプロセス関連の資産」と定義されている。さらに組織のプロセス資産は、「プロセスと手順」、「企業の知識ベース」の二つに分類される。

ア：課題と欠陥のマネジメント手順は、組織のプロセス資産のプロセスと手順に含まれる。

イ：プロジェクト・リスク・マネジメントのリスク・マネジメント計画書の項目である。

ウ、エ：プロジェクト総合マネジメントのプロジェクト憲章の作成に含まれる項目である。

問 3 イ

**解説**

**是正処置**：プロジェクトマネジメント計画書と実績の差異を解消することである。スケジュール遅れを解消するために要員追加など行う場合である。

**予防処置**：リスク低減のための処置である。

**欠陥修正**：品質検査や監視プロセスで発見された欠陥を修正することである。

**変更要求**：プロジェクトスコープの拡大・縮小、方針、プロセス、計画、手順、コストおよび予算等の修正、スケジュールの改訂などに関する要求である。

ア：予防処置の説明である。

イ：是正処置の説明である。

ウ：欠陥修正の説明である。

エ：変更要求の説明である。

問 4 正解  完璧  直前チェック

PMBOKガイド第5版によれば、プロジェクトスコープマネジメントにおいて、WBSの作成に用いるローリングウェーブ計画法の説明はどれか。

- ア WBSを補完するために、WBS要素ごとに詳細な作業の内容などを記述する。
- イ 過去に実施したプロジェクトのWBSをテンプレートとして、新たなWBSを作成する。
- ウ 将来実施予定の作業については、上位レベルのWBSにとどめておき、詳細が明確になってから、要素分解して詳細なWBSを作成する。
- エ プロジェクトの作業をより階層的に分解して、WBSの最下位レベルの作業内容や要素成果物を定義する。

問 5 正解  完璧  直前チェック

WBSの構成要素であるワークパッケージに関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア ワークパッケージは、OBS(組織ブレイクダウンストラクチャ)のチームに、担当する人員を割り当てたものである。
- イ ワークパッケージは、関連がある成果物をまとめたものである。
- ウ ワークパッケージは、通常、アクティビティに分解される。
- エ ワークパッケージは、一つ上位の成果物と1対1に対応する。

問4 ウ

**解説** ローリングウェーブ計画法：段階的詳細化のこと。直近の計画は詳細に、後工程の計画は大まかに立てておき、プロジェクトが進行してから計画を詳細化していく手法である。

プロジェクト開始時に情報の不足や、曖昧な情報によって全てのWBSを細分化できないときに利用する方式である。

問5 ウ

**解説** ワークパッケージとは、WBS (Work Breakdown Structure) 上でプロジェクトの成果物の作成に必要な作業のうち、最下位層にある具体的な作業工程のことである。

ア：WBSに担当人員を割り当てたものがOBSである。

イ：ワークパッケージは要素成果物を構成する一連の作業をまとめたものである。

エ：ワークパッケージは一つ上位の要素成果物とは1対1に対応しない。中間成果物の一要素である。

問 6 正解 完璧 直前チェック

表はRACIチャートを用いた、あるプロジェクトの責任分担マトリックスである。設計アクティビティにおいて、説明責任をもつ要員は誰か。

アクティビティ	要員					
	阿部	伊藤	佐藤	鈴木	田中	野村
要件定義	C	A	I	I	I	R
設計	R	I	I	C	C	A
開発	A	—	R	—	R	I
テスト	I	I	C	R	A	C

- ア 阿部                      イ 伊藤と佐藤  
ウ 鈴木と田中              エ 野村

問 7 正解 完璧 直前チェック

チームの発展段階を五つに区分したタックマンモデルによれば、メンバの異なる考え方や価値観が明確になり、メンバがそれぞれの意見を主張し合う段階はどれか。

- ア 安定期 (Norming)              イ 遂行期 (Performing)  
ウ 成立期 (Forming)              エ 動乱期 (Storming)

問 8 正解 完璧 直前チェック

工程管理図表の特徴に関する記述のうち、ガントチャートのものはどれか。

- ア 計画と実績の時間的推移を表現するのに適し、進み具合及びその傾向がよく分かり、プロジェクト全体の費用と進捗の管理に利用される。  
イ 作業の順序や作業相互の関係を表現したり、重要作業を把握したりするのに適しており、プロジェクトの作業計画などに利用される。  
ウ 作業の相互関係の把握には適さないが、作業計画に対する実績を把握するのに適しており、個人やグループの進捗管理に利用される。  
エ 進捗管理上のマイルストーンを把握するのに適しており、プロジェクト全体の進捗管理などに利用される。

問6 工

**解説** RACIチャートは、プロジェクトの工程をチームあるいは人々に役割分担させる際に使用される図の一種で、役割分担を明確化するために用いられる。

また、RACIチャートでは、タスクを4種類の責任型に分割する。名称は責任型の頭文字語がRACIであることに由来する。通常、プロジェクトや工程ごとに各参加者には異なる役割が割り当てられる。

**Responsible** (実行責任者)：タスク達成のために働く責任者。

**Accountable** (説明責任者)：タスクの完了については外部からの問合せに対して責任をもって対応する。各タスクの窓口は一つでなければならない。

**Consulted** (協業先)：意見を求められる者。双方向の対話。

**Informed** (報告先)：進捗を常に把握している者。一方向の通信。

問7 工

**解説** タックマンモデルは、アメリカの心理学者Bruce Wayne Tuckmanが提唱したチームの発展段階を五つに区分しモデル化したものである。

**成立期 (Forming)**：チームメンバが独立している。お互いを確認し関係を築いていく。

**動乱期 (Storming)**：チーム内で異なる意見を発する。敵対、反抗が行われる。

**安定期 (Norming)**：チームが一丸となって活動する。他の考え方を受容する。

**遂行期 (Performing)**：結束力のあるチームとして活動する。

**解散期 (Adjourning)**：プロジェクトの目的を達成し解散する。

問8 ウ

**解説**

**工程管理図表**：工程管理に用いられる図表の総称で、ガントチャート、バーチャート、出来高累計曲線、バナナ曲線、工程表などがある。

**ガントチャート**：プロジェクト管理や生産管理などで使われる工程管理図である。工程ごとの個別の作業開始日、作業完了日を横棒で示すことで表現される。

ア：**EVM (Earned Value Management)**の説明である。

イ：**PART**図の説明である。

エ：**マイルストーンチャート**の説明である。

問

9

正解

完璧

直前  
チェック

プロジェクトマネジメントにおけるクラッシングの例として、適切なものはどれか。

- ア クリティカルパス上の遅れているアクティビティに人員を増強した。
- イ コストを削減するために、これまで承認されていた残業を禁止した。
- ウ 仕様の確定が大幅に遅れたので、プロジェクトの完了予定日を延期した。
- エ 設計が終わったモジュールから順に並行してプログラム開発を実施するように、スケジュールを変更した。

問9

ア

**解説** クラッシングは、プロジェクトの進捗が遅れている場合の対処方法の一種。各アクティビティの作業内容の見直し、資源の投入など、新たなコスト要因の発生を前提としたスケジュール遅れへの対策である。追加コストや新規要員への教育などが新たに発生するが、注意することは2倍の要員の投入により期間が2分の1になるわけではない。

春  
秋

## 問 10

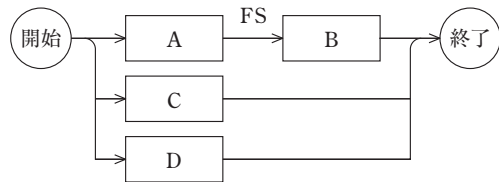
正解

完璧



四つのアクティビティ A～D によって実行する開発プロジェクトがある。図は、各アクティビティの依存関係を PDM (プレシデンスダイアグラム法) によって表している。各アクティビティの実行に当たっては、専門チームの支援が必要である。条件に従ってアクティビティを実行するとき、開発プロジェクトの最少の所要日数は何日か。

[アクティビティの依存関係]



[条件]

- 各アクティビティの所要日数及び実行に当たっての専門チームの支援期間は、次のとおりである。

アクティビティ名	所要日数(日)	専門チームの支援期間
A	10	実行する期間の最初の4日間
B	5	実行する期間の最初の2日間
C	10	実行する期間の最初の4日間
D	4	実行する期間の全て

- 専門チームは、同時に複数のアクティビティの支援をすることはできない。
- 専門チームは、各アクティビティを連続した日程で支援する。
- 専門チーム以外の資源に各アクティビティ間の競合はない。

ア 15      イ 16      ウ 17      エ 18

## 問 10

イ

**解説** PMD (プレシデンスダイアグラム法) とは、アクティビティやタスクをノードと呼ばれる四角形で表し、作業順序や依存関係を矢線(アロー)で表現する表記法である。

順序関係は FS (Finish to Start), SS (Start to Start), FF (Finish to Finish), SF (Start to Finish) で表す。

本問は、A と B が直列、A と C と D が並列で進行している。さらに、専門チームが支援している点を踏まえて計算すると、タスクの順序は、A, C, B, D の順で実行することで最短となる。横軸は日数を表す。専は、専門チームが対応している日を表す。

チーム \ 日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
A	専	専	専	専												
B											専	専				
C					専	専	専	専								
D													専	専	専	専

問 11 正解  完璧  直前チェック

アジャイル型開発プロジェクトの管理に用いるベロシティの説明はどれか。

- ア 開発規模を見積もる際の規模の単位であり、ユーザストーリー同士を比較し、相対的な量で表すものである。
- イ 完了待ちのプロダクト要求事項と成果物を組み合わせたものをビジネスにおける優先度順に並べたものである。
- ウ 定められた期間で完了した作業量と残作業量をグラフにして進捗状況を表すものである。
- エ チームの生産性の測定単位であり、定められた期間で製造、妥当性確認、及び受入れが行われた成果物の量を表すものである。

問 12 正解  完璧  直前チェック

EVMを採用しているプロジェクトにおける、ある時点のCPIが1.0を下回っていた場合の対処として、適切なものはどれか。

- ア 実コストが予算コストを下回っているため、CPIに基づいて完成時総コストを下方修正する。
- イ 実コストをCPIで割った値を使って、完成時総コストを見積もり、予想値とする。
- ウ 超過コストの原因を明確にし、CPIの改善策に取り組むとともに、CPIの値を監視する。
- エ プロジェクトの完成時にはCPIが1.0となることを利用して、CPIが1.0となる完成時期を予測し、スケジュールを見直す。

問 11 エ

**解説** アジャイル型開発プロジェクトでの、ベロシティとは速度を表すものである。開発チームでどれだけの対応をこなせるかを表す値となる。生産性や定められた期間での成果物の量を表している。

- ア、イ：アジャイル開発のベロシティとは直接関係しない。
- ウ：EVM (Earned Value Management) で表すグラフを意味する。

問 12 ウ

**解説** EVM (Earned Value Management) は、作業の進捗や達成度の金銭的表現を統一的な尺度として、プロジェクトのパフォーマンス(コスト、スケジュール)を定量的に測定・分析し、一元的な管理を行うプロジェクト管理手法のこと。EVMでは、基本となる四つの指標、(EV, PV, AC, BAC)と式となる(SV, CV, SPI, CPI)を利用する。

PV (Planned Value) : 計画上の作業コスト

EV (Earned Value) : 確認時点での作業予算

AC (Actual Cost) : 確認時点で実際に投入した実コスト

BAC (Budget At Completion) : プロジェクト完了までの予算

SV (Schedule Variance) : スケジュール差異  $EV - PV$

CV (Cost Variance) : コスト差異  $EV - AC$

SPI (Schedule Performance Index) : スケジュール効率指数  $EV \div PV$

CPI (Cost Performance Index) : コスト効率指数  $EV \div AC$

CPIが1.0を下回った場合は、確認時点の作業予算(EV)よりも、実際に投入した実コスト(AC)が上回っているため、予定よりもコスト超過状態(赤字)である。コスト超過を改善するための取組みが必要である。

問 13 正解  完璧  直前チェック

ファンクションポイント法の一つであるIFPUG法では、機能を機能種別に従ってデータファンクションとトランザクションファンクションとに分類する。機能種別を適切に分類したものはどれか。

〔機能種別〕

EI：外部入力                      EIF：外部インタフェースファイル  
EO：外部出力                      EQ：外部照会  
ILF：内部論理ファイル

	データファンクション	トランザクションファンクション
ア	EI, EO, EQ	EIF, ILF
イ	EIF, EQ, ILF	EI, EO
ウ	EIF, ILF	EI, EO, EQ
エ	ILF	EI, EIF, EO, EQ

問 14 正解  完璧  直前チェック

工程別の生産性が次のとおりするとき、全体の生産性を表す式はどれか。

〔工程別の生産性〕

設計工程：Xステップ/人月  
製造工程：Yステップ/人月  
試験工程：Zステップ/人月

- ア  $X + Y + Z$                       イ  $\frac{X+Y+Z}{3}$   
ウ  $\frac{1}{X} + \frac{1}{Y} + \frac{1}{Z}$                       エ  $\frac{1}{\frac{1}{X} + \frac{1}{Y} + \frac{1}{Z}}$

問 13 ウ

**解説** IFPUG法は、機能やデータのファンクションを数え、それぞれに重み付けして開発コストを見積もる手法である。外部設計完了後に見積もる場合に用いる。  
データファンクション：ILF内部論理ファイルとEIF外部インタフェースである。  
トランザクションファンクション：外部入力、外部出力、外部照会である。  
機能の分類は選択肢ウが正しい。

問 14 工

**解説** 全体の生産性とは、設計工程、製造工程、試験工程の全ての工程を実施する場合、1人月あたりに開発可能なステップ数のことである。  
全体の生産性を「Cステップ/人月」とすると、1ステップ当たりの生産性は1/Cとなる。このCの部分が、（設計の生産性＋製造の生産性＋試験の生産性）となる。したがって式で表すと、選択肢エが正解となる。

$$\begin{aligned} \text{全体の生産性} &= \frac{1}{\text{設計の生産性} + \text{製造の生産性} + \text{試験の生産性}} \\ &= \frac{1}{\frac{1}{X} + \frac{1}{Y} + \frac{1}{Z}} \end{aligned}$$

問 15

正解

完璧

直前  
チェック

新しく編成するプロジェクトチームの開発要員投入計画に基づいてPCをレンタルで調達する。調達の条件を満たすレンタル費用の最低金額は何千円か。

〔開発要員投入計画〕

単位 人

開発要員	時期											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
設計者		2	4	4	4	2	2	2	2	2	2	
プログラマ				3	3	5	5	3	3	2	2	
テスト						4	4	4	6			
計	0	2	4	7	7	11	11	9	11	4	4	0

〔調達の条件〕

- PCのレンタル契約は月初日から月末日までの1か月単位であり、日割りによる精算は行わない。
- PC1台のレンタル料金は月額5千円である。
- 台数にかかわらず、レンタルPCの受入れ時のセットアップに2週間、返却時のデータ消去に1週ンを要し、この期間はレンタル期間に含める。
- セットアップとデータ消去は、プロジェクトチームの開発要員とは別の要員が行う。
- 開発要員は月初日に着任し、月末日に離任する。
- 開発要員の役割にかかわらず、共通仕様のPCを1人が1台使用する。
- レンタル期間中にPCを他の開発要員に引き渡す場合、データ消去、セットアップ及び引渡しの期間は不要である。

ア 350      イ 470      ウ 480      エ 500

問 15

イ

**解説** 設問の条件に合わせて、PCの借用数要員数の推移と合わせて計算する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
要員数	0	2	4	7	7	11	11	9	11	4	4	0	
借用数	2	4	7	7	11	11	11	11	11	11	4	4	
月額利用料	10	20	35	35	55	55	55	55	55	55	20	20	470

\*月額利用料は、千円単位

- 1月～：条件(3)から、利用する2週間前にPCを用意する必要があるため、前月に借用する。
- 8月：人数が減っているが9月に再度11人になるためそのまま借用する。
- 10月：11月から4人になるためデータを消去し7台解約する。
- 12月：11月まで借りていた4台のデータを消去するため借用する必要がある。



問 16 正解  完璧  直前チェック

製品を出荷前に全数検査することによって、出荷後の故障品数を減少させ、全体の費用を低減させたい。次の条件で全数検査を行ったときに低減させられる費用は何万円か。ここで、検査時に故障が発見された製品は修理して出荷するものとする。

[条件]

- (1) 製造する個数：500個
- (2) 全数検査を実施しなかった場合の、出荷個数に対する故障品の発生率：3%
- (3) 全数検査における、製造個数に対する故障品の発見率：2%
- (4) 全数検査を実施した場合の、出荷個数に対する故障品の発生率：1%
- (5) 検査費用：1万円/個
- (6) 出荷前の故障品の修理費用：50万円/個
- (7) 出荷後の故障品の修理費用：200万円/個

ア 1,000      イ 1,500      ウ 2,000      エ 2,250

問 17 正解  完璧  直前チェック

マッシュアップを利用してWebコンテンツを表示している例として、最も適切なものはどれか。

- ア Webブラウザにプラグインを組み込み、動画やアニメーションを表示する。
- イ 地図上のカーソル移動に伴い、Webページを切り替えずにスクロール表示する。
- ウ 鉄道経路の探索結果上に、各鉄道会社のWebページへのリンクを表示する。
- エ 店舗案内のWebページ上に、他のサイトが提供する地図検索機能を利用して出力された情報を表示する。

問 16 ア

解説

**全数検査**：製品の全てについて1個ずつ検査をして、良品と不良品に選別すること。精密な検査が必要な場合、不良品の混入は防げるが、検査に時間がかかり経済的に負担となることがある。

**抜取検査**：製品を一定単位(ロット)に分け、そこから任意の個数を抜き取って検査を行う手法。何らかの理由で全数検査ができない、あるいは全数検査をする必要がない場合に行われる。寿命試験や破壊試験など検査手法によっては製品が壊れる場合、検査に膨大なコストがかかる場合、大量ロットである程度の不適合品の混入が許される場合に採用される手法。

全数検査した場合の総費用には、検査費用(5)、全数検査で発見された製品故障の修理費用(3)、(6)と、出荷後の故障修理費用(4)、(7)がかかるので次式となる。

$$500 \times 1 + 500 \times 0.02 \times 50 + 500 \times 0.01 \times 200 = 500 + 500 + 1,000 = 2,000 \text{ [万円]}$$

全数検査しなかった場合の修理費用には、出荷後の故障修理費用(2)、(7)がかかるので次式となる。

$$500 \times 0.03 \times 200 = 3,000 \text{ [万円]}$$

したがって、製品出荷前に全数検査すると、修理費用を1,000万円削減できる。

問 17 エ

解説

**マッシュアップ**とは、Web上に提供されている情報やサービスなどを組み合わせ、新しいWebサービスやデータベース、ソフトウェアを開発・提供することである。マッシュアップをしやすくするために、企業のWebサービスを利用するためのAPIを公開・提供するケースが増えている。インターネット上の地図サイトなど各種サービスがある。

問 18 正解  完璧  直前チェック

ソフトウェアのリファクタリングの説明はどれか。

- ア 外部から見た振る舞いを変更せずに保守性が高いプログラムに書き直す。
- イ ソースコードから設計書を作成する。
- ウ ソフトウェア部品を組み合わせてシステムを開発する。
- エ プログラムの修正が他の部分に影響していないかどうかをテストする。

問 19 正解  完璧  直前チェック

データの追加・変更・削除が、少ないながらも一定の頻度で行われるデータベースがある。このデータベースのフルバックアップを磁気テープに取得する時間間隔を今までの2倍にした。このとき、データベースのバックアップ又は復旧に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア フルバックアップ1回当たりの磁気テープ使用量が約2倍になる。
- イ フルバックアップ1回当たりの磁気テープ使用量が約半分になる。
- ウ フルバックアップ取得の平均処理時間が約2倍になる。
- エ ログ情報を用いて復旧するときの平均処理時間が約2倍になる。

問 20 正解  完璧  直前チェック

データ管理者 (DA) とデータベース管理者 (DBA) を別々に任命した場合のDAの役割として、適切なものはどれか。

- ア 業務データ量の増加傾向を把握し、ディスク装置の増設などを計画して実施する。
- イ システム開発の設計工程では、主に論理データベース設計を行い、データ項目を管理して標準化する。
- ウ システム開発のテスト工程では、主にパフォーマンスチューニングを担当する。
- エ システム障害が発生した場合には、データの復旧や整合性のチェックなどを行う。

問 18 ア

- 解説** リファクタリングは、正常に動作しているプログラムを、保守性の高いプログラムに書き直すことである。機能の拡張やパフォーマンスの改善を目的とはしていない。  
 イ：リバースエンジニアリングのことである。  
 ウ：部品化には、ソフトウェアパッケージやコンポーネントウェア、SOAなどがある。  
 エ：回帰テスト(退行テスト、レグレッションテスト)のことである。

問 19 エ

- 解説** 設問から、データの追加・削除が一定の頻度で行われた場合、フルバックアップの時間間隔を2倍にしてもデータの総量はあまり変化しない。そのため、フルバックアップ1回当たりの磁気テープ使用量も、約2倍や約半分にはならない。またフルバックアップの取得時間にも大きな差はない。  
 ジャーナル情報は、日々の処理データの蓄積であるため、データの追加・変更・削除の件数に応じて比例するため、フルバックアップ時間が間隔を2倍にすれば、ジャーナルのデータ量もほぼ2倍となる。したがって、ジャーナル情報からの復旧時間も平均して約2倍となる。

問 20 イ

- 解説** データ管理者は、システムで必要とするデータベースの論理構造などを担当する。データベース管理者は、データベース管理システム(DBMS)の管理を担当する。したがって、ア、ウ、エに記述されている装置の管理やチューニング、障害対策などはデータベース管理者の業務である。

問 21 正解  完璧  直前チェック

ベンダX社に対して、図に示すように要件定義フェーズから運用テストフェーズまでを委託したい。X社との契約に当たって、“情報システム・モデル取引・契約書”に照らし、各フェーズの契約形態を整理した。a～dの契約形態のうち、準委任型が適切であるとされるものはどれか。

要件定義	システム外部設計	システム内部設計	ソフトウェア設計、プログラミング、ソフトウェアテスト	システム結合	システムテスト	運用テスト
a	準委託型 又は 請負型	b	請負型	c	準委託型 又は 請負型	d

ア a, b      イ a, d      ウ b, c      エ b, d

問 22 正解  完璧  直前チェック

労働基準法で定める制度のうち、36協定がよりどころとしている制度はどれか。

- ア 業務遂行の手段、時間配分の決定などを大幅に労働者に委ねる業務に適用され、労働時間の算定は、労使協定で定めた労働時間の労働とみなす制度
- イ 業務の繁閑に応じた労働時間の配分などを行い、労使協定によって1か月以内の期間を平均して1週の法定労働時間を超えないようにする制度
- ウ 時間外労働、休日労働についての労使協定を書面で締結し、行政官庁に届け出ることによって、法定労働時間外の労働が認められる制度
- エ 労使協定によって1か月以内の一定期間の総労働時間を定め、1日の固定勤務時間以外では、労働者に始業・終業時刻の決定を委ねる制度

問21 イ

**解説** 一般的には、要件定義フェーズは、どのぐらいの要件が出るかわからないため、**準委任型**で契約し、作業日数と人数などから見積りを行う。システム内部設計、システム結合は明確に成果物が定義できるため**請負型**となる。

運用テストについては、運用部分は、障害対応など発生する場合、しない場合が存在する作業であるため、**準委任型**となる。障害が発生しないからといって、作業費用が支払われない契約にはできないためである。

**準委任型**（準委任契約）：委託先会社が、作業内容を委託先会社に依頼し、明確な成果物が明確に定義できない場合に行われる契約である。例えば、システムの運用業務などがある。

**請負型**（請負契約）：委託先会社が、作業内容を委託先会社に依頼し、完成したソフトウェアなどの成果物によって対価が支払われる契約である。要員は特定せず、作業の内容によって作業見積りを行う。

問22 ウ

**解説** 時間外労働協定は、労働基準法第36条に定めがあることから、一般に「36（サブロク）協定」とも呼ばれている。

時間外労働協定とは、労働者の過半数で組織する労働組合か労働者の過半数を代表する者との労使協定において、時間外・休日労働について定め、行政官庁に届け出た場合には、法定の労働時間を超える時間外労働、法定の休日における休日労働が認められる。この労使協定を時間外労働協定：36協定という。時間外労働時間には限度が設けられている。

ア：裁量労働制の説明である。

イ：シフト勤務の説明である。

エ：フレックスタイム制の説明である。

問 23 正解  完璧  直前チェック

派遣労働者の受入れに関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア 派遣先責任者は、派遣先管理台帳の管理、派遣労働者から申出を受けた苦情への対応、派遣元事業主との連絡調整、派遣労働者の人事記録と考課などの任務を行わなければならない。
- イ 派遣先責任者は、派遣就業場所が複数ある場合でも、一人に絞って選任されなければならない。
- ウ 派遣先責任者は、派遣労働者が従事する業務全般を統括する管理職位の者の内から選任されなければならない。
- エ 派遣先責任者は、派遣労働者に直接指揮命令する者に対して、労働者派遣法などの関連法規の規定、労働者派遣契約の内容、派遣元事業主からの通知などを周知しなければならない。

問 24 正解  完璧  直前チェック

CSIRTの説明として、適切なものはどれか。

- ア JIS Q 15001:2006に適合して、個人情報について適切な保護措置を講じる体制を整備・運用している事業者などを認定する組織
- イ 企業や行政機関などに設置され、コンピュータセキュリティインシデントに対応する活動を行う組織
- ウ 電子政府のセキュリティを確保するために、安全性及び実装性に優れると判断される暗号技術を選出する組織
- エ 内閣官房に設置され、サイバーセキュリティ政策に関する総合調整を行いつつ、“世界を率先する”“強勦”で“活力ある”サイバー空間の構築に向けた活動を行う組織

問 25 正解  完璧  直前チェック

ペネトレーションテストに該当するものはどれか。

- ア 暗号化で使用している暗号方式と鍵長が、設計仕様と一致することを確認する。
- イ 対象プログラムの入力に対する出力結果が、出力仕様と一致することを確認する。
- ウ ファイアウォールが単位時間あたりに処理できるセッション数を確認する。
- エ ファイアウォールや公開サーバに侵入できないかどうかを確認する。

問23 工

**解説** 労働者派遣法によれば、派遣労働者と雇用契約を結んでいるのは派遣元の企業である。給与や勤務時間の明示など、雇用関係における条件の提示については派遣元の企業が行う。

派遣先の企業は、実務上の指揮命令等を行うことになる。そのなかで、派遣契約における労働条件の認識や職場環境の改善などについて、派遣労働者が不満を感じることがある。その場合、苦情や不満は派遣元企業から派遣先企業へ知らされることになり、派遣先企業はこれを迅速に解決することが求められる。

ア：派遣労働者の人事記録と考課は派遣先責任者の役割ではない。

イ：派遣先責任者は、派遣先就業場所単位に選任する。

ウ：派遣先責任者は、全業務を統括する管理職位でなくともよい。派遣労働者の就業に係る事項に関する一定の決定、変更を行い得る権限を有する者であること等、派遣先責任者の職務を的確に遂行することができる者を選任するよう努めることとされている。

問24 イ

**解説** CSIRT (Computer Security Incident Response Team) とは、コンピュータネットワーク上で問題が起きていないかどうかを監視し、問題が発生した場合はその原因や影響範囲などを調査する組織の総称である。

ア：JIS Q 15001:2006の要求を満たす事業所はJIPDEC (日本情報経済社会推進協会) によりプライバシーマークの使用が認可される。

ウ：CRYPTREC (Cryptography Research and Evaluation Committees) に関する説明である。

エ：NISC (National center of Incident readiness and Strategy for Cybersecurity) に関する説明である。

問25 工

**解説** ペネトレーションテストは、実際にネットワークを介してサイトを攻撃し、不正侵入できるかどうかを検査するテストである。アクセスコントロールが適切な場合は、予定されるアクセスのみが可能という結果になる。